

主日の福音 2024/3/30(No.1289)

復活徹夜祭 (マルコ 16:1-7)

父がすべてを御自分の手にゆだねられた (4)



皆さん主の復活おめでとうございます。今年の聖週間、遠ざかっていたことが復活しました。聖木曜日の洗足式です。長くお休みしていたので、ここにお集まりの皆さんの中に、足を洗ってもらった人は数えるほどしかいなくなっているかもしれません。

これは一つのしるしです。「長くお休みしていた」にも関わらず、復活することができるのです。それは儀式に限りません。私たち自身も、長くお休みしていた人がこの中に混じっているかもしれません。イエスの復活によって、その人も復活するのです。三年お休みした人がいるかもしれません。八年お休みした人がいるかもしれません。それでも、イエスが復活したおかげで復活の恵みにあずかるのです。

イエスの復活こそ、私たちが復活できるただ一つの理由です。実は私自身も、すっかりお休みしていた「体を動かす習慣」を復活させることができました。六方の浜まで歩くのが今は習慣になっていますが、それは復活したイエスが、いつも一緒に歩いてくださって「あなたはまだやるべき事がある」と励ましてくださったからできたのです。

イエスはどんな人を、復活の勝利によって復活させることができるのでしょうか。教会から離れていることに負い目を感じている正直な人だけを復活させることができるのでしょうか。イエスの復活の勝利は、すべての人を、新しい人に復活させることができると私は信じています。

与えられた朗読の登場人物は、いくつかなの人々の種類を表していると思います。イエスに油を塗りに行くために墓に向かう婦人たちは、イエスの復活を理解していなかった人々です。ご遺体に敬意を表すことしか考えていませんでした。しかし彼女たちは、弟子たちに復活の事実を知らせる証言者に生まれ変わらせていただきました。復活したのです。

弟子たちは、イエスが前もって復活について教えていたのに信じることができなかつた人々です。イエスから一時的に遠ざかって、負い目を感じていた人です。イエスの復活を理解していない人から、理解していても信じられず遠ざかっていた人まで、イエスはすっかり新しい人にしてくださるのです。復活させてくださるのです。

聖木曜日に示した一つのことがここにも生きています。「父がすべてを御自分の手にゆだねられた」(ヨハネ 13・3)。イエスにすべてがゆだねられていたので、復活の勝利の時にすべての人を御自分のもとに引き寄せ、新しい人に変えてくださる、復活させてくださるのです。イエスは復活して、私を含むすべての人を引き寄せてくださったのです。

イエスは先に復活なさって私たちを招いてくださっています。何を畏れるのでしょうか。何をためらうのでしょうか。「私が今あるのは、復活したイエスのおかげです」「私が今ここに集められたのは、復活したイエスのおかげです」と、声に出しましょう。イエスはいつも先に、私たちが出会うはずの場所に来て、待っておられます。

復活の主日 (日中) (ヨハネ 20:1-9)